

キャンプ座間に関する協議会第7回代表幹事会  
(ま と め)

1 日 時 平成27年8月19日(水) 16:30~17:15

2 場 所 防衛省D棟7階第1会議室

3 出席者

(1) 防衛省

中島地方協力局長、丸井南関東防衛局長

(2) 座間市

遠藤座間市長、伊田市議会議長、堀川市基地返還促進等市民連絡協議会副会長

(3) 神奈川県

副知事代理 太田政策局参事監兼基地対策部長

4 会議の概要

(1) 開会

(2) 議題

① 第16回から第17回までの幹事会での協議内容の報告  
第16回から第17回までの幹事会での協議内容を報告した(別紙)。

② 負担軽減策の具体化

座間市から、病院建設工事を円滑に進めることが可能となったことについて、防衛本省と南関東防衛局の尽力に謝意が示された。

さらに、座間市から、病院工事の具体的な進捗状況について説明がなされ、「座間総合病院は平成28年4月1日の開院に向けて、順調に進捗しており、引き続き、工事を円滑に進めることができるようご協力をお願いしたい。」との発言があった。

その後、座間市から、「病院開院にあたっては、実際の返還がされなければならないと思うが、キャンプ座間の一部返還に際し必要となる施設整備である米軍家族住宅の工事の進捗状況と、最終的な完了時期について、説明を頂きたい。」との発言があり、これに対して、防衛省から、「キャンプ座間の一部土地の返還に際し必要となる米軍家族住宅の整備については、既に全ての棟の躯体工事が完成し、現在、順次、外装工事、内装工事及び外構工事を実施しているところである。当該住宅整備の最終的な完了時期については、今後の事業の進捗によることから、現時点で確定的には申し上げられないが、来年1月中旬を目標としているところであり、引き続き努力していく。」との説明があった。

次に、座間市から、「病院の開院は、当該土地の返還後となるが、具体的な返還時期及び返還までに必要となるもの等の流れを説明していただきたい。また、開院に当たっては、事前に様々な手続きや横浜財務事務所等、関係機関との調整が必要となることから、ご協力をよろしく願いたい。」との発言があり、これに対して、防衛省から、「具体的な返還時期については、米軍家族住宅の整備完了後、米軍内部の手続きを経て決定されることから、現時点で確たることは申し上げることはできないが、いずれにしても、施設整備を着実に実施し、貴市のご要望を踏まえ、早期の返還に向けて米側と調整するなど、引き続き努力するとともに、平成28年春の病院開院に支障のないよう、関係機関との調整にも協力してまいります。」との説明があった。

③ その他、陸上総隊の新編

座間市から、「陸上総隊の新編について、防衛省の検討状況について説明をしていただきたい。」と発言があり、これに対して、防衛省から、「陸上総隊司令部（仮称）については、平成29年を目途に陸上自衛隊朝霞駐屯地内に新編することを予定しており、当該新編に向けて、平成27年度は司令部庁舎等の整備にかかる調査・設計等の事業を実施することとしている。今後とも、詳細が分かり次第、適時情報提供を行っていく。」との説明があった。

(3) 閉会

以上